# 福島イノベーション・コースト構想の推進について(環境・リサイクル分野)

平成29年2月28日 経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課

# 1. 福島イノベーション・コースト構想の更なる推進

- ◆ 平成26年6月、廃炉研究、ロボット、エネルギー、環境・リサイクル、農林水産分野等を重点分野とする、「福島イノベーション・ コースト構想」を取りまとめ。
- ◆ ロボットテストフィールド等の拠点整備を進めるとともに、浜通り地域において地元企業が参画する研究開発プロジェクトに対する 支援を実施中。(構想に関連する予算:平成28年度予算145億円、平成29年度予算案101億円)
- ◆ 今後、閣僚級会議の創設や、福島特措法へ同構想を位置付ける等、<u>構想の具体化・実現へ向けて関係省庁が連携して取り</u> 組む枠組を構築。



## 今後の方向性

避難指示解除の進展に伴う、住民の帰還、事業再開を見据え、「福島イノベーション・コースト構想」の各拠点等を核とする産業 集積の実現等へ向けて、以下に取り組む。

#### 1. 地元企業の参画促進

- ▶ 地元企業の拠点やプロジェクトへの参画に向け、官民合同チーム と連携し、浜通り地域への<u>進出企業のニーズと地元企業のシーズ</u> とのマッチングを実施。
  - . 2、3月にロボット、環境・エネルギー等の各分野について、浜通り地域において マッチングイベントを開催。平成29年度も継続。

#### 2. 農業プロジェクトの加速

➤ 無人走行トラクタ、農業用アシストスーツ等を十分に活用し、 農業の生産効率や安全性を向上。

#### 3. 推進体制の抜本強化

- ▶ 構想を「福島特措法」に位置づけ。加えて、閣僚級による会議体 を創設し、推進体制を抜本的に強化。
- ▶ 県も、推進法人や県内企業等で構成される協議体を創設。

# 2. 福島イノベーションコースト構想の取組(環境・リサイクル分野 ①)

- ○一昨年8月に「ふくしま・環境リサイクル関連産業研究会」を設立。
  - (会員企業・団体等:161者(昨年10月1日現在))
- ○また、昨年4月に4つの事業テーマ毎にWGを設置し、関連企業による協業の可能性 について検討。

## ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会

会長:東北大学 中村教授

事務局:福島県(商工労働部産業創出課)

#### 運営委託

スズトクホールディングス(株)

(協力:(株)環境ビジネスエー ジェンシー)

連絡·調整·会議手配、進捗管理、 資料作成等

#### WG運営委員会

委員長:中村研究会長

H27年度 事業化推進会議メンバー

WG方向性・運営方法等決定 WG進捗管理

#### オブザーバー

有識者(中村会長から紹介) H27年度 事業化推進会議メンバー その他、各WGに特化した関係者

相談



助言等

## 石炭灰リサイクル 事業化WG

リーダー: (一財)石炭エネルギーセン ター

#### 小型家電リサイクル 事業化WG

リーダー:(株)高良

#### 太陽光パネルリサイクル 事業化WG

リーダー: (株)リビングソーラー

サブリーダー:

(株)ケイコーポレーション

#### 浜通りにおける廃棄物 処理システム構築WG

リーダー:

太平洋セメント(株)

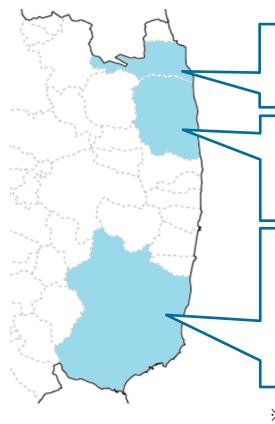
石炭灰リサイクル製品の販路 拡大・無害化技術の検討 小型家電リサイクルにおける 浜通り版回収モデルの構築等 検討 太陽光パネルのリユース・リ サイクルシステム (ワンス トップ) の在り方検討

浜通りにおける廃棄物処理システムの検討

# 2. 福島イノベーションコースト構想の取組(環境・リサイクル分野 ②)

研究開発・実用化等に関する補助事業に関して、本年度以下の案件が採択。

○地域復興実用化開発等促進事業(リサイクル分野)※福島県庁において執行



#### 【相馬市】

・地域の再生可能エネルギーの最大活用を目指した下水汚泥処理システムの実用化開発「IHI」

#### 【南相馬市】

- ・石炭灰リサイクル製品(再生砕石)製造技術の開発「福島エコクリート他」
- ・総合リサイクルセンターの処理スキーム開発[高良他]

#### 【いわき市】

- 新技術によるレアメタルリサイクル実証事業 [アサカ理研]
- ・新たな環境適合性プラスチックの開発、 環境配慮型合成樹脂製造プロセスの開発 [クレハ]
- ・炭素繊維リサイクル技術の実証開発、 難処理廃プラスチック製品のリサイクル [クレハ環境]
- ・植物由来・持続型資源新素材「ケナフ・ナノセルロース」の混合技術の実用化開発 [トラスト企画]
- ※この他、企業立地に関する補助事業(自立帰還支援雇用創出企業立地補助金(経産省))として、 以下の案件を採択。
  - ・廃ガラスを原材料とした発泡ガラス素材の研究及び製造工場 [株式会社ガラス再資源化研究所]

# 3. 次年度の取組(案)

- 2020年に向け、これまでのWGでの検討内容等を踏まえ、現在取組まれている 事業化案件へと早期に発展させるとともに、新規事業化案件の創出を行っていく。
- このため、県による新たに事業化案件の可能性調査や、浜通りでの廃棄物排出量予測 調査等も行いつつ、県を中心に引き続き事業化支援を行って行く予定。

## ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会

来年度複数回開催し、以下の取組を実施。

- ・会員企業間のネットワーク構築/企業間のマッチングイベント
- ・実用化開発補助金等による事業化案件など、様々な取り組みの紹介
- ・各分野に共通する課題に関する情報共有 等
  - ※1 会員からの要望に応じ、県等が適宜サポートを実施。
  - ※2 会員が主体となった新たな体制に速やかに発展させることを目指す。

#### 【新たな取組①】 事業可能性調査の実施

- これまでのWGでの検討案件や、WGにはない新た なテーマの中から、早期に事業化を進める意欲のある 案件を会員企業等から募集。
- 早期の事業化が見込まれる案件(企業)について、 実証・実用化に必要な事業性調査の実施を支援。 (採択案件毎に、県も参画し、適宜サポートを実施)

## 【新たな取組②】 共通課題に対する調査

- 浜通り全体での排出量の予測など、研究会全体で共通する課題について、県が調査を実施。
- 調査結果については、研究会等において、情報共有を 図る。

地域復興実用開発等促進事業等を活用した実証事業の実施等による事業化案件の創出